



外国出張報告書

平成 26 年 8 月 26 日

1. 出張国名 ラオス・タイ
2. 出張月 平成 26 年 5 月
3. 出張目的 タイ、ラオスにおける熱帯果樹研究の進捗状況に関する
現地サイトの視察等：C
4. 成果の概要

タイ国チャンタブリ園芸研究センターCHRC、ラオス国 NAFRI および HRC を訪問した。5 月 26 日に CHRC のソンバット所長を訪問し、現在の共同研究の進捗状況について意見交換を行った。

その後、試験圃場のあるファイ支場を訪問し、マンゴスチンとランブータンの試験樹について説明を受けた。

タイのチャンタブリ園芸研究センター（CHRC）では、マンゴスチンとランブータンの花芽誘導試験をおこなっている。マンゴスチンでは環状剥皮処理が、ランブータンでは環状剥皮処理と NAA 葉面散布処理にある程度の効果があることが分かった。

今年度は、経時的に葉を採取し花芽分化期と葉の栄養状態の関係を調査するとのことであった。

5 月 29 日にラオスの HRC を訪問し、ブントム副所長と意見交換した。

その後 NAFRI へ移動し、ウオンビライ氏と意見交換をおこなった。

HRC のブンヌワン所長とは、昼間あえなかったが、HRC が開いた夜の懇親会で会談することができた。HRC は JIRCAS との共同研究に対して好意的で、非常に和やかな雰囲気歓迎してくれた。

今後の共同研究の進捗に大きな期待が寄せられていることがわかった。